

▶ 平成3年茨城県の人口 ◀

288万5,056人(平成4年1月1日現在)

はじめに

「茨城県常住人口調査」では、国勢調査の間ににおける人口及び世帯の移動状況を明らかにするため、「茨城県常住人口調査規則」(昭和45年規則第28号)に基づき、毎月市町村から報告を得て、県及び市町村の人口及び世帯数を推計し公表している。

ここでは、平成3年(1月～12月)の調査結果のうち早期利用の便を図るために、県、地域及び市町村の主要項目についての概数を示している。

なお、ここに示す数値は、後日公表する「年報」の数値と若干異なる場合がある。

## 概況

本県の人口は平成3年中に32,860人増加し、平成4年1月1日現在で2,885,056人となった。人口増加率は1.15%である。前年と比べると、数で6,423人、率で0.22ポイント上回ったが、これは昭和62年以来4年ぶりのことである。

内訳は、自然動態で10,102人(出生29,173人、死亡19,071人)、社会動態で22,758人(転入146,591人、転出123,833人)それぞれ増加した。

人口増加を5地域別にみると、県南地域が18,689人(増加率2.12%)の増加で最も多く、以下、県西地域6,037人(同1.06%)、県北地域3,147人(同0.48%)、県央地域2,676人(同0.55%)、鹿行地域2,311人(同0.88%)の順である。この結果、5地域別に県人口に占める割合は、平成4年1月1日現在で県南地域(899,769人)が31.2%、県北地域(661,623人)が22.9%、県西地域(572,938人)が19.9%、県央地域(487,131人)が16.9%、鹿行地域(263,595人)が9.1%となっている。

また、市町村別に増加率をみると、江戸崎町(8.77%)が最も高く、以下、守谷町(6.55%)、五霞村(5.56%)、谷和原村(5.11%)、美浦村(4.97%)の順である。増加数では、つくば市(3,572人)

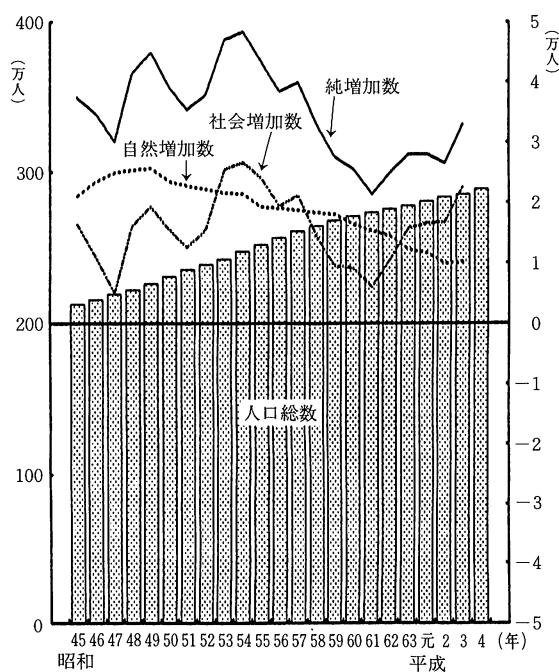
が最も多く、以下、守谷町(2,416人)、竜ヶ崎市(2,146人)、土浦市(1,763人)、勝田市(1,720人)の順である。

一方、増加率の最も低い市町村は美和村(△1.46%)で、次いで、緒川村(△1.21%)、水府村(△1.18%)、大子町(△1.17%)、七会村(△0.78%)の順である。減少数では、大子町(△317人)が最も多く、以下、笠間市(△110人)、那珂湊市(△100人)、水府村(△83人)、麻生町(△81人)の順である。

世帯数については、平成3年中に23,193世帯(2.77%)増加し、平成4年1月1日現在で860,396世帯となった。世帯数の増加率は人口の増加率より1.62ポイント高くなっている。この結果1世帯当たりの人員が0.06人減少して3.35人となった。

(統計課・人口労働グループ)

図-1 人口総数及び増加数の推移 —茨城県—



注1) 人口総数は各年とも1月1日現在(平成元年は昭和64年1月1日現在)。

2) 平成元年の増加数は昭和64年分を含む。